

3 学校支援訪問研修

1	理科実験・観察訪問研修	校種	幼	(小)	中	高	(特)
---	-------------	----	---	-----	---	---	-----

1 趣 旨

小学校・義務教育学校（前期課程）教員の理科の指導力の向上と、理科教育の振興を図る。

2 主 催（主 管）

富山県教育委員会

（富山県総合教育センター科学情報部、市町教育センター、富山県小学校教育研究会理科部会）

3 期日・会場

- ・サイエンスカー訪問校・実施機関・団体が希望する日
 授業中は原則として15:00～17:00の間の1時間程度
 夏季休業中は2時間程度
- ・会場は、サイエンスカー訪問校（理科室等）・実施機関・団体が希望する場所

4 対 象

教員（公）

5 指導者

富山県総合教育センター科学情報部職員

6 申込要領

- ・市町教育センターや小学校教育研究会等は、様式3で富山県総合教育センター科学情報部へ直接申し込む。
- ・小学校・義務教育学校（前期課程）が研修を希望する場合は、市町教育センターに連絡し、市町教育センターが富山県総合教育センター科学情報部へ申し込む。
- ・サイエンスカー訪問校は、4月に関係学校へ別途配布する申込書で富山県総合教育センター科学情報部へ直接申し込む。

2	情報教育訪問研修	校種	幼	(小)	(中)	(高)	(特)
---	----------	----	---	-----	-----	-----	-----

1 趣 旨

情報教育に関する指導力の向上を図るため、各学校等における研修を支援し、その活性化に資する。

2 主 催（主 管）

富山県教育委員会（富山県総合教育センター科学情報部）

3 期日・会場

- ・富山県総合教育センター職員が訪問可能な日で学校等が希望する日。ただし、希望日が重なった場合は調整する。時間帯は、学校等が希望する時間帯とする（1～2時間程度）。
- ・会場は、研修の内容に応じて学校等で設定された場所とする。

4 対 象

教職員（公、私、国）

※校長等を責任者とする教育関係団体も対象とする。

5 指導者

富山県総合教育センター科学情報部職員

6 申込要領

様式3で富山県総合教育センター科学情報部へ直接申し込む。

7 研修テーマ

事前打合せで研修テーマを決め、申請する。

（テーマの例）

- | | |
|---------------------|--------------------------|
| ・授業におけるICT活用 | ・アプリケーション等のスキル研修 |
| ・一人一台端末を使った授業実践 | ・著作権 |
| ・教育用クラウドプラットフォームの活用 | ・情報モラル、ネットワーク社会で求められるルール |
| ・プログラミング教育 | ・情報セキュリティ |

※詳細については、訪問校決定後に打合せをし、調整する。

3	教育相談訪問研修（学校・サテライト）	校種	① ② ③ ④ ⑤ 市町教育センター 小中高教研 等の各種教育団体
---	--------------------	----	-----------------------------------------

1 趣 旨

- ・学校の要望に応じて、教育相談や生徒指導に関する研修を実施し、指導力の向上に資する。
- ・市町教育センター等の要望に応じて、教育相談や生徒指導、特別支援教育等に関する研修を実施し、指導力の向上に資する。

2 主催（主管）

富山県教育委員会（富山県総合教育センター教育相談部）

3 期日・会場

期日は、富山県総合教育センター職員が訪問可能で、学校・教育機関・各種教育団体が希望する日
会場は、各学校、市町教育センター等

4 対 象

教職員（公、私、国）

市町教育センター、小・中・高教研等の各種教育団体が開催する教職員対象研修会

5 指導者

富山県総合教育センター教育相談部職員

6 申込要領

事前に電話で日時、内容を相談の上、様式4で教育相談部へ直接申し込む。

7 研修内容（学校等のニーズに応じて研修内容、研修時間を設定）

○教育相談や生徒指導に関する研修

- ・児童生徒理解とその対応
- ・児童生徒が抱える問題から学ぶ事例検討
- ・チームによる支援を促進するエピソードプロセスを用いたケース会議
- ・教育相談部で相談を受けている児童生徒についてのケース会議

○児童生徒の人間関係にはたらく発達促進的・開発的な育成プログラム研修

- ・ソーシャルスキル・トレーニング
- ・ストレスマネジメント教育
- ・アサーション・トレーニング
- ・対人関係ゲーム
- ・◎セルフ・エモーション・アプローチ — 自分自身の感じ方から自己理解を促すワーク —

※ 上記の育成プログラム研修は、いくつかの内容を組み合わせることも可能

○教師のためのメンタルヘルスに関する研修

- ・心理教育プログラムを用いたメンタルヘルスの維持、向上、予防のための研修

○発達障害等、特別支援教育に関する内容

- ・理論、演習、事例検討

※ 市町教育センター、小・中・高教研等の各種教育団体のみ対象